

1.概要

箕面市では平成 27 年 4 月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間 140 時間（週 4 時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間 30 時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に 1 時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができます。特別の教育課程を実施することで、9 年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

2.学校関係者からの意見

- ・将来、英語でコミュニケーションを図ることができる生徒の育成を目標に、ALT 3 名と日本人教員 1 名でチームティーチングを行っています。授業内容は、即興で 1～2 分程度の英会話ができるように毎時間スモールトークという活動を取り入れるようにしています。また、具体的な英語活用場面を意識した課題解決型の活動を多く取り入れるようにしています。活動例としては、旅行代理店として旅行の案を発表する、漫才をする等です。
- ・授業形態は、一斉で説明・練習した後、クラスを 3 つに分けて、ALT と 1 対 1 で会話する時間を設けています。生徒は個別指導を受けることで、即時フィードバックを受け、着実にスピーキングの力を向上させることができます。

3.今後に向けて

- ・これまでの取り組みに加えて、生徒の自己調整能力が高まるよう授業の組み立て方を工夫していきたいと思っています。具体的には、毎時間設定されている目標に対して計画をさせ、授業で英語を使ながらセルフモニタリングを行い、次回の授業に生かすことを意識させます。これらの活動を通して、生徒自身が自己の成長や課題を発見し、自分自身の活動に主体的に取り組むことができるようになることをめざしていきます。